

学びを通じた被災地のコミュニティ再生支援事業

大船渡市「デジタル公民館まっさき」 平成 27 年 7 月活動報告

PC ネットよろず相談 現地参加者アンケート結果 (回答 17 名)

| | |
|---------------------------|--------------------------|
| 7月11日(土) 13:30 ~ 16:00 | 7月12日(日) 9:00 ~ 12:00 |
| 8名 (回答数7) | 10名 (回答数10) |
| 延べ18名 (回答数17) | |

1. あなたの性別を教えてください。

| | |
|----|----|
| 男性 | 9名 |
| 女性 | 8名 |

2. あなたの年代を教えてください。

| | |
|--------|-----|
| 20歳未満 | 0名 |
| 20~35歳 | 0名 |
| 35~49歳 | 1名 |
| 50~64歳 | 3名 |
| 65歳以上 | 13名 |

3. 末崎活動(パソコン、竹とんぼ、キッズディー、ごいし民俗誌、映画会等)への参加回数を教えてください。

| | |
|-------|-----|
| 初めて | 0名 |
| 2~4回 | 5名 |
| 5回以上 | 1名 |
| 10回以上 | 11名 |

4. お住まいはどちらですか？

| | |
|------|-----|
| 末崎町内 | 16名 |
| それ以外 | 1名 |
| 未回答 | 0名 |

5. 今回の参加プログラム(「パソコン・ネットよろず相談」)を教えてください？

| | |
|----------|----|
| 30日(土)午後 | 6名 |
| 31日(日)午前 | 9名 |
| 未回答 | 2名 |

6. 参加したプログラムはいかがでしたか？

| | |
|---------|-----|
| とてもよかった | 14名 |
| よかった | 2名 |
| どちらでもない | 0名 |
| あまりよくない | 0名 |
| よくない | 0名 |
| 未回答 | 1名 |

7. また参加したいと思いますか？

| | |
|-------------|-----|
| ぜひ参加したい | 17名 |
| 参加したい | 0名 |
| どちらとも言えない | 0名 |
| 参加したくない | 0名 |
| まったく参加したくない | 0名 |

8. 今回のプログラムを何で知りましたか？

| | |
|--------------------|----|
| KK2のWebサイト | 1名 |
| メルマガ・DM | 0名 |
| 看板・チラシ | 1名 |
| 友人・知人経由 | 2名 |
| デジタル公民館まっさきのWebサイト | 4名 |
| 前回参加した | 2名 |
| フェイスブック | 3名 |
| 館報まっさき | 8名 |
| その他 ・本部より手紙 | 1名 |

9. ご意見・ご要望・苦言など、何でも結構ですのご記入下さい。

- ・ いつもありがとうございます。これからも、いつまでもお願いいたします。
- ・ ご丁寧にご指導いただきました。ありがとうございました。パソコンの使用環境が改善されたと思います。感謝です。
- ・ この事業はたいへんありがたいです。私の場合はトラブル対応ばかりですが、ゆっくりと新しい活用を学ぶことができるとは思います。遠くからサポートいただき、本当にありがたく思います。これからもよろしくお願いします。
- ・ 今日によく理解できました。ありがとうございます。

10. ご自宅でパソコンは持っていますか？

| | |
|--------|-----|
| 持っている | 10名 |
| 持っていない | 1名 |
| 未回答 | 6名 |

11. ご自宅にインターネット回線はありますか？

| | |
|-----|-----|
| ある | 10名 |
| ない | 1名 |
| 準備中 | 0名 |
| 未回答 | 6名 |

12. 普段パソコンでしている事、今後覚えたい事を、「内容」ごとに教えてください。(複数回答)

| | している事 | 覚えたい事 |
|------------|-------|-------|
| インターネットの閲覧 | 7名 | 2名 |
| メール | 9名 | 0名 |
| フェイスブック | 7名 | 0名 |
| ブログ | 2名 | 0名 |
| ホームページ作成 | 1名 | 1名 |
| 文章作成 | 9名 | 0名 |
| 写真保存 | 8名 | 1名 |
| 計算ソフト | 5名 | 1名 |
| 未回答 | | 5名 |

13. 今後、私はこんな事がしたい、または地域にしてあげたいと思っていますか?(複数回答)

| | |
|---|----|
| パソコンの使い方を知らない人に教えられるようにする | 4名 |
| パソコンが使えない人が調べてほしいことを代わりにインターネットで検索をする | 3名 |
| パソコンが使えない人に代わってネット通販で生活必需品を(一緒に)購入する | 2名 |
| ブログや Facebook で仲間たちや知り合いと情報交換する | 7名 |
| インターネット電話 S k y p e (スカイプ) で遠く離れている人と電話やテレビ電話をする | 2名 |
| わかめなどの地域の名産品や観光・文化等を全国に P R する | 2名 |
| 町を離れた人に復興やまちづくりの情報を発信する | 4名 |
| 高齢者、現役世代、子どもたち等に話を聞いて紹介する | 1名 |
| 未回答 | 5名 |
| その他 ・皆さんのように早くなりたい。 ・自分の利用が精いっぱいであり考えていませんでした。 ・ダウンロード、インストール等の理解を深めたい | 3名 |

学びを通じた被災地のコミュニティ再生支援事業

大船渡市「デジタル公民館まっさき」 平成 27 年 7 月活動報告

まっさきに学ぶ！まちおもいトーク 現地参加者アンケート結果 (回答 8名)

| |
|---------------|
| 7月11日(土) |
| 18:30 ~ 21:00 |
| 8名 |

1. あなたの性別を教えてください。

| | |
|----|----|
| 男性 | 5名 |
| 女性 | 3名 |

2. あなたの年代を教えてください。

| | |
|--------|----|
| 20歳未満 | 0名 |
| 20～35歳 | 0名 |
| 35～49歳 | 1名 |
| 50～64歳 | 0名 |
| 65歳以上 | 7名 |

3. 末崎活動(PC、竹とんぼ、寄席、音楽会、映画会等)への参加回数を教えてください。

| | |
|-------|----|
| 初めて | 2名 |
| 2～4回 | 2名 |
| 5回以上 | 0名 |
| 10回以上 | 4名 |
| 未回答 | 0名 |

4. お住まいはどちらですか？

| | |
|-----------|----|
| 末崎町内 | 7名 |
| それ以外(広田町) | 1名 |
| 未回答 | 0名 |

5. 参加したプログラムはいかがでしたか？

| | |
|---------|----|
| とてもよかった | 5名 |
| よかった | 3名 |
| どちらでもない | 0名 |
| あまりよくない | 0名 |
| よくない | 0名 |
| 未回答 | 0名 |

6. また参加したいと思いますか？

| | |
|-------------|----|
| ぜひ参加したい | 6名 |
| 参加したい | 1名 |
| どちらとも言えない | 0名 |
| 参加したくない | 0名 |
| まったく参加したくない | 0名 |
| 未回答 | 1名 |

7. 今回のプログラムを何で知りましたか？

| | |
|--------------------|----|
| KK2のWebサイト | 0名 |
| メルマガ・DM | 0名 |
| 看板・チラシ | 1名 |
| 友人・知人経由 | 1名 |
| デジタル公民館まっさきのWebサイト | 2名 |
| 前回参加した | 4名 |
| フェイスブック | 3名 |
| 館報まっさき | 2名 |
| 未回答 ・スタッフさんから | 1名 |

8. ご意見・ご要望・苦言など、何でも結構ですのでご記入下さい。

- ・ 今回の話しあいは実に有意義でした。テーマを限定した話しあいが必要であると痛感しました。
- ・ 長洞元気村の村上誠二氏のお話しはとても興味があって、参考になった。最高の形で完成された感じがする。体験型のゆべし作り、ワカメの芯抜き作業が実際それほど反響があったとは驚きです。

学びを通じた被災地のコミュニティ再生支援事業
大船渡市「デジタル公民館まっさき」 平成 27 年 7 月活動報告
スタッフ・アンケート結果(14名中14名)

1. あなたの性別を教えてください。

| | |
|----|-----|
| 男性 | 11名 |
| 女性 | 3名 |

2. あなたのメンバー区分を教えてください。

| | |
|---------|-----|
| KK2メンバー | 3名 |
| Web会員 | 10名 |
| 一般 | 1名 |

3. あなたの年代を教えてください。

| | |
|--------|----|
| 19歳未満 | 0名 |
| 20～34歳 | 3名 |
| 35～49歳 | 5名 |
| 50～64歳 | 5名 |
| 65歳～ | 1名 |

4. KK2プログラムへの参加回数を教えてください。

| | |
|-------|----|
| 初めて | 7名 |
| 2回～4回 | 2名 |
| 5回以上 | 2名 |
| 10回以上 | 3名 |

5. 今回の活動への参加動機・目的・趣旨は何ですか。また、それに対する達成度や満足度を教えてください。

| | |
|---------|----|
| とてもよかった | 8名 |
| よかった | 1名 |
| どちらでもない | 2名 |
| あまりよくない | 0名 |
| よくない | 0名 |

(自由記入) :

(参加動機等)

- ・ 被災地の現状を知り、防災の仕事に生かす。
- ・ 育った地元への貢献。
- ・ KK2プログラム参加者からの紹介。実際に被災地に行き、何かを学びたいと考えた。
- ・ 現地の方との交流、参加者間の親交、パソコンよろず相談で過去に相对した方のフォロー。

- 単にボランティアとして参加するだけでなく、現地の方と交流する中で、末崎町をはじめとした地域の日常と文化、地元の方の生の感想をうかがえることが魅力に感じた。また、一日目の講演テーマであった「地域ブランド」も、大学院の研究テーマに合致していたため、有益な話が聞けそうだった。さらに、IT ボランティアとして PC や SNS の操作を教えることで、地域の魅力を地元の方々が自ら発掘、発信し、それにより開かれた地域にしたいという思いがありました。
- 前回以上に現地を良く知り、地域住民の方と多く交流したいと思った。
- 継続支援、特に今回は、新規参加リーダーの補助。
- 復興状況を見たかったこと、現地の方からいろいろな話を聞きたいと思ったこと、デジタル公民館まっさきに参加される方の姿勢を学びたかったこと。
- 現地ではどのような課題を抱え、どのように取り組んでいるか。そして、私がどのように貢献できるかを考えたいと思った。
- 地域振興、復興の軌跡確認。
- 復興支援に興味があった。パソコンの知識で地域の方に少しでもお役にたきたい。また、地域の方と復興のまちづくりについて議論したいと思った。
- 被災地の現場が見たい。普段行くことのない地方が見たい。

(達成度、満足度、感想等)

- 密度の濃いスケジュールで、現地の暑さに消耗したが貴重な体験ができ、多くの情報を得ることができた。たいへん満足している。
- 被災地の復興状況、かさ上げや堤防工事などこの時期にしか見ることでできない状況を視察でき、大いに考えさせられた。被災者の生の声も聴き、活動の様子や将来に向けた思いを知ることができた。
- 育った地元への貢献が動機と目的だった。IT を通じて関わることができたので、少しは目的を達成できたと思う。役割をもって関わることができたので、十分満足している。また、地元の友人が参加してくれたことが、なによりも良かったと感じている。外部の技能を持った人が地域と関わり続けることで、何か、新しいものが生まれ、事業の継続に繋がる可能性がでけると感じる。
- パソコン教室については、参加者の問題を解決することができ、いろいろお話をさせていただいたので、良かったです。
- 目的どおりの成果を得られ満足している。新たな参加者 6 名との親交も図れた。
- 他の復興ボランティアとは異なり、人との交流が中心で、会話の中で地元の方の末崎町に対する思いをひしひしと感ずることができました。ボランティア以外にも、地域ブランドと題した講演の中で、南三陸の地域ブランド化の現状と課題、また長洞元気村の先進的な取り組みとそのノウハウなど、課題先進地域と呼ばれる被災地において、復興の次段階の発展はどのように進めていけば良いのかを考えるととても良い機会になりました。総じて、申込時の想像以上に、得るものが多く、参加して本当に良かったと心から思っています。
- 予想通りに活動できたと思っており、満足度は 80%以上と感じます。
- 初めて参加するメンバーが半数いらしたことで、前回とは雰囲気は異なったが、その環境の変化で自分の役割が明確になったと思います。
- 現地の方々は現状にかなり満足されている雰囲気を感じ、そもそもの課題認識からスタートする段階であることに当初の期待とのギャップや現実の活動における難しさを感じました。課題とは地区や自治体が消滅しかねない超高齢化社会であることですが、それは高齢の方々にとっては切実な問題ではないのかもしれませんが、東京では知りえないこのような情報に触れることができ、また自身の考えも深まり、プログラム参加への満足度は非常に高かったです。
- 毎回参加するごとに、復興が少しずつ進み、今回、碓石浜からの船で穴通磯に行き、穴を潜ることができたことに感銘。
- パソコンの知識をお伝えするということが多少できたかもしれませんが、一言でいえば、それ以上に頂くことの方が多かった二日間でした。それは、震災当時の話から、現在の復興の状況、それに対する地域の方々の思い等、勉強になることばかりでした。
- KK2 プログラムに申込をする時は、一般的なパソコン教室の講師補助のようなイメージがあった。プログラムの参加募集をする時に、現地の方の年齢層や、自分のノートパソコンを持参してきて相談するケースが多いなど、どのように行われるのかが最初から分かっていると良かった。
- まっさきの人たちに「良かった」といわれるプログラムを心がけているのですが、まだまだ。テーマ、参加者、語り部、運営がマッチングできていない。改善したい。活動メンバーは今回、初めての人が多くなったので、募集時点で固まっていなかった部分（早朝視察や 2 日目の視察研修）を、初めての方や地域の参加希望者に、ぜひ体験してほしい内容で調整した。それが良かったのかどうかは今後次第。単発では判断できない。
- ベテラン参加者として、新規参加者の方に対して、もう少しできたことがあったと、反省することばかりでした。
- デジタル公民館まっさきの活動の原点には下記の寺中構想がある。

【文部次官通牒(1946年7月5日)「公民館の設置運営について」(寺中構想*)】

「これからの日本に最も大切なことは、すべての国民が豊かな文化的教養を身につけ、他人に頼らず、自主的に物を考え、平和的、協力的に行動する習性を養うことである。そのためには教育の普及を何よりも必要とする。

-中略-

公民館は、全国の各町村に設置せられ、此処に常時、町村民がうち集まって談論し、読書し、生活上、産業上の指導を受け、お互いの交友を深める場所であり、文化教養の機関である。

それは亦、青年団、婦人会などの町村に於ける文化団体の本部ともなり、各団体が相提携して町村振興の底力を生み出す場所でもある。此の施設は上からの命令で設置されるのではなく、真に町村民の自主的な要望と協力によって設置され、又町村自身の創意と財力によって維持せられてゆくことが理想である。(*文部省社会教育課長寺中作雄が草案)

この寺中構想にあるような「公民館の設置運営」に本活動がどこまで寄与できているのか？ その成果は渺々しくない。

- ・ 今回、新館長が居場所ハウスの視察、まちおもしろトーク、長洞元気村視察に出席し、積極的に関わっていただいたこと、振興会長も積極的に関わっていただけたことで、本活動の風向きにも変化が見られた。これを契機に引き続き交流の絆を深めていきたい。
- ・ 地方の現実が見えた。高齢化社会とはどういう社会なのか分かった。

6. 陸前高田市かさ上げ造成地見学や居場所ハウス視察についていかがでしたか？

| | |
|---------|----|
| とてもよかった | 8名 |
| よかった | 5名 |
| どちらでもない | 1名 |
| あまりよくない | 0名 |
| よくない | 0名 |

改善点やご意見があればご記入下さい(自由記入)：

(参加した感想 —かさ上げ造成地見学—)

- ・ 造成地見学は衝撃的だった。工事中の現場を見ることができよかった。国の土木技術の威信にかけて津波で流されない土地をつくるのだというメッセージを感じた。一方で、津波被害が甚大であったこともあり、おおいに感情的な対策、多面的な検討がなされていない対策なのではないか。住民の意向や今後の人口動向等の考慮がなく、最初から土木工事ありきといった対策に疑問を感じた。
- ・ 東日本大震災の象徴的な被災地とその復興に向けた工事現場を短時間だが視察できたことは、他にかえがたい、良かった。
- ・ かさ上げ造成地に行くと、大自然に立ち向かう愚かな人間の愚かな行動に、疑問がわきあがる。
- ・ 陸前高田市のかさ上げについては、地元でどのように考えているか、外からではなかなか見えないことでもあり、また、立場によって異なる見解もあるデリケートな事業だと感じている。よって、外観だけで評価することは難しい。
- ・ 被災地でどのような復興事業が行われているのか、具体的に見聞きする機会があまりなかったため、かさ上げ造成地の現場を見て、衝撃的でした。造成地に住む方々は、1人平均1億円の造成地費用が投入されることになるという話を聞き、驚きました。
- ・ 嵩上げ地見学は、9月でベルトコンベア解体との情報があるので良いタイミングだった。
- ・ かさ上げ造成地見学では、山を切り崩して得た土をベルトコンベアで運ぶ光景は本当に衝撃的でした。休憩やちょっとした購入も兼ねて、とても良い見学時間だったと思います。被災地再建を考えるに当たり、あの光景はボランティアが始まる前に一度直接見ておいて良かったと思います。
- ・ 自分が訪れた場所がどのような場所なのかというのを実感することは、非常に大切だと思っています。そういう意味では、初日にこういったところを視察できたことは有難いと思っております。陸前高田の震災遺構となる(なった?)団地(4階まで浸水した形跡があり、5階が元のままの姿)は、もっと、車を降りて、じっくり見てみたかったです。そこに立って、周りを見回したりして一層、被災地の現実を実感することで、現地の方の思いを慮るようになりたいと思いました。
- ・ 陸前高田市かさ上げ造成地見学は、山を削った土を上空に設置したベルトコンベアで運ばれるのを見て、圧倒されました。見学した日は風が強かったために、ベルトコンベア付近で砂嵐が起きていて、異様な感じがしました。かさ上げた造成地は地盤沈下しそうで不安です。
- ・ 実際に陸前高田市の現状を見ることができて、聞いたりテレビで見ていたのとは大違いでした。
- ・ 誰のための造成地なのか。税金の無駄遣いを可視化したような場所だった。

(参加した感想 —居場所ハウス視察—)

- ・ 居場所ハウスでの高齢者の自主的な活動に敬意を表したい。
- ・ 居場所ハウスの皆さんが、変わらず、元気そうだったのが嬉しかった。今後は、その活用方法や、持続可能な運営に向けた協力をしていきたいと改めて思った。
- ・ 住民の復興支援に対する要望が国に聞き入れられていないという話を聞いて、かさ上げ造成地のような事業と、被災地の住民の方々の想いとギャップをつくづく感じました。
- ・ 居場所ハウスでご説明いただいた内容と食事には満足している。
- ・ 震災当日の様子や津波の建築計画などの話も参考になりました。
- ・ 居場所ハウスの木造作りがいいと思いました。天井が高く、開放感もあって、近所の人が気楽に立ち寄れる雰囲気と空気作りがされていると思いました。
- ・ 「顧客不在」というのが日本全般が問題かもしれないと感じさせられました。
- ・ 居場所ハウスの視察では、居場所ハウスの取り組みや地域の反応、今後のプログラムの企画などがもっとあってもよかったかなと思います。せっかく居場所ハウスに来たのだから、来客の方々とも交流したいと思いました。
- ・ 陸前高田市かさ上げ造成地見学に関して、対面の駐車場に停め、献花台や「まちづくり情報館」(復興記念館)を見学してはどうでしょうか？
- ・ 通り道なので旧道の駅タピック45にも立ち寄れるとよい。(追悼施設、タピック45の1階内部視察、新たに開設された情報館で震災前の街並み映像公開中、など)

7. PC ネットよろず相談についていかがでしたか？

| | |
|---------|----|
| とてもよかった | 7名 |
| よかった | 6名 |
| どちらでもない | 1名 |
| あまりよくない | 0名 |
| よくない | 0名 |

改善点やご意見があればご記入下さい(自由記入)：

(参加した感想)

- ・ 多くの方が参加され、ほぼ1対1で相談相手を務めた。手持無沙汰のメンバーはいなかった。
- ・ 少なくとも来られた住民の役には立ったと感じる。
- ・ Facebookは普段使っていなかったので、年配の住民の方々がFacebookで知り合いと繋がることに面白さを感じた。また、Facebookを一生懸命操作して、使いこなしているのには、感動しました。
- ・ 前回・今回とKさんの対応をさせていただいたが、熱心で休憩なしで、のべ12時間フルサポートで充実感があった。
- ・ 単に一方的に教えるだけでなく、話をする中で地元の方のニーズを探り、個人に見合った使い方を提案するスタイルはとていいなと思います。相手の方も、マンツーマンで指導してくれるのはありがたいとおっしゃっていました。
- ・ 現地参加者のみなさまが、具体的に自分ができるようになりたいことを持っていらしたので、こちらも具体的にご説明することができ、有難かったです。
- ・ 微力ながら、自分が伝えたことを相手に理解してもらえるのはとても嬉しく、やり甲斐を感じました。
- ・ ありのままの現地の方々と接する機会が得られ、よかったです。
- ・ 特にFACEBOOKを使うことで、地域の方が今後の復興に役にたつかもしいと思った。また、個人的にFACEBOOKで地域の方と友達になれたこともうれしかった。

(課題認識)

- ・ もう少し若い世代、まっさきを背負って立つ世代の参加を促したいが・・・
- ・ どのようにしたら、パソコンをプライベートなものだけではなく、地域でのコミュニティの活性化に寄与する道具になるか、工夫が必要と感じた。記録や地域誌(史)について詳しい方も多いことから、少し話しを掘り下げたり、年齢の範囲を広げていくような活動も必要と思った。
- ・ パソコンは普段から使いこなしていない人には、いろいろ難しい。地域毎に、ITボランティアが必要だと感じた。民生委員と同じように、各自治体毎にITボランティアを設置することを義務づけるなどの国の施策が必要と感じた。
- ・ 相談開始時刻と会場準備時刻に時間差がほしい。開始時点でバタバタしてしまう。
- ・ 個別のよろず相談だけでなく、途中、15分ぐらい休憩「お茶っ子タイム」を入れて、みんなで何か話す時間があってもいいかもしれない。
- ・ パソコン・ネット学習に加え、スマートフォンの使い方を教えるのもいいかもしれません。

8. 「気仙に学ぶ！ 第2回まちおもいトーク&懇談会 地域ブランド」についていかがでしたか？

| | |
|---------|----|
| とてもよかった | 5名 |
| よかった | 8名 |
| どちらでもない | 1名 |
| あまりよくない | 0名 |
| よくない | 0名 |

改善点やご意見があればご記入下さい(自由記入)：

(参加した感想)

- ・ 一つのテーマについて地元の人と議論できたのはよかった。
- ・ 志田仁さんのお話は、コンパクトに地域ブランドの基本的なところを押さえていて、若者や活動スタッフには良かったが、まっさきの方々には、もっと時間をかけて説明しないと、難しかったかもしれない。参加者、話者、内容のマッチングとしては村上誠二さんの話が今回びったりだったように思う。

- ・ 地元の方がもっともっと参加してほしいかった。
- ・ 村上誠二さんのお話はとてもよかった。
- ・ 村上誠二さんのお話は大変良かった。地域ブランドに一番重要なのは物語（ストーリー）だということが参加者に伝わり、翌日の視察研修にも繋がったのでは。
- ・ 特に長洞元気村のお話は印象深かった。まっさきの近くで、これだけの活発な人たちがいることを、はっきりとしらなかつた。子どもたちも元気になり、その元気につられて大人たちも元気になるという点も素晴らしいと思う。
- ・ 被災地に限ったことではなく、日本中の地方都市が抱える問題点を、生の声で実感できました。ブランド化や地域の街おこしは、保守的な人々を根気よく説得し、実行力がある、変わり者のキーマンがいないと、なかなか実現は困難であることも、T Vのニュース番組では得られないことを、実感することができて良かったです。
- ・ 地域ブランドという難しいテーマでしたが、志田・村上両氏はそれぞれの想いを熱く語ってくださいました。とても参考になりました。志田氏のプレゼンテーションは、そもそも地域ブランドとは何かを考えるきっかけとなりました。村上氏は、長洞元気村のこれまでの軌跡と工夫した点を紹介くださり、地域活性化活動をする上で一つのモデルケースになります。欲を言えば、志田さんにはご自身のこれまでの活動や推進してきたプロジェクト、その中でのエピソードについて、もっと語ってほしいかったです。
- ・ 前回に比べると、活発な意見交換ができてよかった。
- ・ 地域ブランドというテーマを通して、志田さん、村上さんからこれまでの道のりの苦労や、これからの課題に対する苦悩を聞いて、考えられるものがありました。地域ブランドは商品の知名度ですが、その商品を支えているのは人ですから、地域ブランドを立ち上げるためには、まずは同じ心意気の人達の団結にかかってくるように思います。忍耐強く、誠心誠意、対話を重ねることが大切のようにも思います。
- ・ 何とか、自分たちボランティアでも、末崎地区ブランドを世間に広める活動ができれば良いと思うが、現時点では自身のF Bのページに末崎地区の写真に掲載する程度しかできていない。
- ・ 地元参加者数や若い世代の参加が今後の課題ではないか？
- ・ いろいろなお話が聞けて楽しかったのですが、あまりディスカッションが深まらなかった印象があります。現地の方、プログラム参加者の方双方が議論の傍観者だったからかも知れません。
- ・ 自己紹介が始まったとき、時間オーバーになる予感がしました。
- ・ ローカルブランドを立ち上げようとしている方の話が最も良かった。一度外の世界に飛び出て、自分および自分が置かれている環境を外から客観的にみることの重要性をあらためて感じさせられた。

9. 「まっさきに学ぶ！ 早朝視察」 についていかがでしたか？

| | |
|---------|-----|
| とてもよかった | 11名 |
| よかった | 3名 |
| どちらでもない | 0名 |
| あまりよくない | 0名 |
| よくない | 0名 |
| 不参加・未回答 | 0名 |

改善点やご意見があればご記入下さい(自由記入)：

(参加した感想)

- ・ 海上から、岸壁にもたらした痕跡をみることで改めて東日本大震災の地震と大津波の恐ろしさをイメージすることができた。
- ・ 漁船で海岸線沿いに進み、うねりの中でリアス式海岸を観たが感激でした。
- ・ 改めて海の雄大さを知った。こうした自然環境や観光資源をいかにデジタルにおいても伝えて、交流人口につなげていけるか課題を感じた。
- ・ 碁石海岸穴通船に乗って、震災前後で、港がどのように変わったか、岸壁のどの辺りの高さまで津波が来たのか、自分で直接見聞きできて良かったです。乗船して、穴通磯まで数分なのかな？とっていたら、結構長く、着くまで時間がかかり、小型船で漁師気分海上を走っている感じでした。
- ・ 一度は荒波で中止になるのかと心配しましたが、当日は無事乗船でき、穴を抜けることもできて、とても新鮮な体験ができました。海鷗や海つばめの巣など、普段あまり見かけない動物も目にする事ができました。
- ・ 海側から地域住民の方の説明を聞きながら、津波で崩れた崖や岩、木々を見たことが印象的でした。陸からでは視察できない風景を見て学ぶことができました。海側からだからこそ、まだ残っている津波の破壊力の痕跡を見ることができたのだと思います。貴重な経験でした。ありがとうございました。
- ・ 碁石小型観光船による海からのリアス式海岸視察はとてもスリルがあって楽しかったです。たくさんの岩かもめが岩に留まっていた、数の多さに目が離せませんでした。岩かもめは岩の小さな穴に巣を作っているらしく、その岩の周りを少し成長した子供の岩かもめが群れをなして飛んでいるのを見たときには感動しました。
- ・ 船中で碁石海岸の歴史や特徴を語ってくれるガイドさんがいると、もっと界限の理解が深まるとともに、記憶に残るクルーズになるかと思っています。

10. 「気仙に学ぶ！ 長洞元気村視察研修会」 についていかがでしたか？

| | |
|---------|----|
| とてもよかった | 8名 |
| よかった | 6名 |
| どちらでもない | 0名 |
| あまりよくない | 0名 |
| よくない | 0名 |
| 不参加・未回答 | 0名 |

改善点やご意見があればご記入下さい(自由記入)：

(参加した感想)

- ・ 被災地を目にしなが、被災者からその時の様子を聴け、たいへん印象深かった。
- ・ 行政に頼らず 1年半がかりで完成させた「なでしこ工房、番屋」、ひたむきな努力が多様な方の支援を引き寄せた。未来に向けてコツコツ暮らしている方々に改めて感銘しました。
- ・ 語り部のお話は十人十色、皆さん多くの学びを含んでいる。全体が見通せる範囲での浜辺・集落での、過去・現在・未来をもっと知恵を出して残していきたいと思った。
- ・ 現地に行ってみて、話してみ、そして手作りの建物を見て、その土地の匂いを感じることで、親近感が増した。随所に楽しむための工夫や自分たちが快適に使えるような取組みを感じた。また来たいと思う。
- ・ プログラム参加時に想像もしていなかった研修会に参加できて、とても学ぶことが多く、良かったです。実際に被災地の方の生の声をきくことは初めてだったので、被災時の苦労話や、復興に向けたいろいろな取組、住んでいる方々のいろいろな心境の変化を聞いて、学ばせていただきました。地域創生が叫ばれる中、復興という観点で、地域おこしを実践している長洞元気村の取組を見聞きすることで各地のまちおこしの参考になるのではないかと感じました。
- ・ 前夜の講義を聴いた後なので、その現場を見られたことはよかった。まち歩きの際に、被災していない家屋の住民との関係を聞きたかったが、その話になると口調が濁ったので聴けなかった。
- ・ 語り部の方の話は、報道をなぞるよりも緊張感にあふれていました。今回はまちおもしろトークの中で村上さんから長洞元気村の経緯や活動内容をお話いただきました。他方、なでしこ会の方からは、語り部の時間しかお話を伺えなかった。もっとお話をうかがいたかった。
- ・ 3.11 の大津波を実際に経験した地域住民の方に、エリアを歩きながら、それぞれの場所や被害にあった方の説明を聞くことができました。こういった機会は通常、なかなかないので、たいへん勉強になりました。今回の研修の中で一番勉強になったことです。津波被害の規模の甚大さ、おそろしさを疑似体験したような気持ちになりました。振り返りで他の方がおっしゃっていましたが、現地に来ないと分からないことがいかに多いか実感しました。
- ・ 前日の村上誠二さんからの説明を聞いてから、実際に現場を見て体験できたのは、参加者にとってとても貴重な体験だったと思う。「まっさき」の住民の方が参加してくれたことは、非常に革新的な出来事になった。
- ・ なでしこ会語り部の方から現地を案内してもらいながら、体験されたお話を聞くのは感慨深いものがありました。夕方近く、すぐ上空でもかめの群生を長い時間鑑賞でき、とても感動しました。現地の人にはあたり前の風景でも、都会の者にとってはすごいことなので、ぜひそれも魅力の一つとしてアピールしたらどうかと思いました。
- ・ 車で 10 分しか離れていない、まっさきの住民の方々が元気村の取り組みをあまり知らないことに衝撃を受けました。
- ・ 村上誠二さんのパソコン設定を行ったため、語り部には参加していないが、何度も来訪した元気村で誠二さんとも長い付き合いの中で、信頼関係を築けていることはうれしい。
- ・ なでしこ会の方からは、語り部の時間しかお話を伺えなかったため、なでしこ会に所属しようと思ったきっかけ、普段の活動内容、参加してどう思うか、参加していない人に対してはどのようにかかわっているかなど、普段のなでしこ会の活動の様子も伺えればなと思いました。
- ・ 長洞元気村というブランドは認知され、成功かもしれないが、町の将来を考えた時に被災していない住民とのわだかまりなどが残った状態でどこまで進化していけるのか、当事者と被災していない住民の意見も聞いてみたい。
- ・ 限界集落の規模感がわかった。
- ・ 大船渡市から車で 10 分とかからないところに、世界的に注目されている被災地復興のベストプラクティスがあるにもかかわらず、大船渡市の方が訪問したのが初めてだということに驚いた。

11. 「デジタル公民館まっさき」活動に、また参加したいと思いますか？

| | |
|-------------|----|
| ぜひ参加したい | 7名 |
| 参加したい | 6名 |
| どちらとも言えない | 1名 |
| 参加したくない | 0名 |
| まったく参加したくない | 0名 |

備考・自由記入

- ・ PC ネットによる相談に新しい参加者がいない。「気仙に学ぶ」「まっさきに学ぶ」 が少々マンネリ化している
- ・ 継続して関わられるように参加していきたいと思う。
- ・ 今年度中にもう一度参加したいと思います。
- ・ まっさきを少しずつ知ることができている。引き続き、長く地域活性化に関わって行きたい。
- ・ 多くの NPO 的活動に見られる特徴かもしれませんが、特に多数回にわたって参加されている方は、本活動を娯楽の一環と捉えられているように感じました。個人的には、より日本や地方に対して、問題意識を持っている方々中心の活動となれば良いと思っています

12. ご意見・ご要望・苦言など、何でも結構ですのでご記入下さい。

① 全般

(感想)

- ・ 地域の多世代が関われる工夫を考えたい。また、IT の利用ボランティアに限らず、NPO や地域の事業運営についても、IT の効果を理解してもらえよう取組みを考えていきたいと思う。
- ・ 長洞元気村に限らず、居場所ハウスやほかの場所でも、きっと、いい物語があるので、そうした物語をくみ上げて、首都圏にフィードバックしていきたいと思う。
- ・ 2日間盛りだくさんの内容で末崎町をはじめ地域の方と意見を交わす機会にも恵まれ、得るものの方が多かった2日間でした。被災地の復興の次のステージについて考えるきっかけとなりました。
- ・ 町としての危機感が大部分の人の間で共有されないと、変わるのには極めて難しいということに気付かされた。大船渡市を日本に置き換えても同じことが言えると思う。日本国民でいまの延長に明るい未来はないという共通認識を持たない限り、何も変わらない。震災という外圧によって、変わった町ができたように、
- ・ 日本が変わるためには、外圧が必要だと思う。
変わることにインセンティブを感じない人が多いであろう 60 歳以上の高齢者世代が選挙権の 40%を握っている以上、若者が吠えたところで、何も変わらないだろうなという気持ちが強くなった。逃げ切れない世代の間は、国が沈没しても、生き残れるだけの力を身につけておくことでしか、自分と家族は守れない。
- ・ 高齢化社会、変わることへの圧力、閉ざされた社会など、いままで知らなかった世界を垣間見ることができ、大変勉強になった。10 年後に過去を振り返ったときに、当活動に参加したことが、ターニングポイントになったという可能性もある。それぐらい大きな刺激を受けた。

(要望、提案)

- ・ 地域の方のプロフィールを要約したリストを作って、参加者が共有できるとよい。逆に現地の方には、私たち参加者の写真入りプロフィールをお配りすると、自己紹介の時間節約にもなり良いと思う。(その場合は年配の方が読み易いよう大きな字で)
- ・ 道中に新しいことに挑戦しているお醤油屋さんがあった。一度訪問してみたいと思いました。
- ・ 今後の改善に活かしたいと感じることはタイムマネジメントです。アジェンダと時間配分を事前に決めて、そのとおりに進行するようにすると良いと思います。タイムキーパーを設けて、誰か一人担当するようにはいかがでしょうか。
- ・ プログラムが盛りだくさんで満足度は高かったと思いますが、休憩時間がほしいです。
- ・ みなさん朝早起きで新幹線に乗ったりしているので、初日の公式活動時間をもう少し短くしてほしいです。